母性看護学実習

1. 目的

周産期における母子の特性を理解するとともに、妊婦、産婦、褥婦および新生児の特徴を理解し、対象者に応じた看護ができる基礎的能力を養う

2. 目標

- (1) 妊娠における正常な経過と身体的変化、心理、社会的変化を理解できる
- (2) 産婦の正常な分娩経過とその特徴が理解できる
- (3) 新生児の身体的特徴、生理的変化が理解でき、子宮外生活適応に向けた援助ができる
- (4) 褥婦の正常な経過とその特徴を理解するとともに、母乳栄養確立、母子関係確立にむけてアセスメントができる
- (5) 出産後の母親の身体的な回復や心理的安定を目的とした継続看護の必要性を理解できる
- (6) 地域母子保健活動の実際を知り、継続看護の必要性を理解できる
- (7) ハイリスク要因を持った妊産婦や新生児の療養環境や機能、看護師の役割を理解し、退院後の継続看護についての特徴や違いを学ぶことができる
- (8) 母性看護に向けて主体的に学び、取り組むことができ、自己の課題を明確にできる

3. 実習概要

(1) 実習施設

恵愛病院（産科外来・病棟・産後ケアセンター）
地域子育て支援センター

(2) 実習時期 3年

(3) 実習構成 3単位 120時間

(4) 実習構成

妊娠期	恵愛病院（産科外来）	1単位 30時間
分娩・産褥 新生児	恵愛病院（病棟）	2単位
地域母子保健活動	恵愛病院（産後ケアセンター） 子育て支援センター	80時間
周産期ハイリスク	総合周産期母子医療センター母体・胎児部門 （埼玉医科大学総合医療センター）	10時間

(5) 母性看護学 臨地実習受講のための前提条件

1) 単位取得領域・科目

基礎看護学実習Ⅰ、基礎看護学実習Ⅱ、母性看護学を履修し、所定の単位を取得していること

2) 円滑な臨地実習のために復習することが望まれる学習項目

- 1 妊娠の生理
- 2 胎児の発育とその生理
- 3 妊婦と胎児のアセスメント
- 4 母子保健施策
- 5 親になるための準備教育
- 6 分娩の要素
- 7 分娩の経過
- 8 産婦、胎児のアセスメント
- 9 分娩期の看護の実際
- 10 新生児生理
- 11 新生児の機能
- 12 新生児のアセスメント
- 13 産褥経過
- 14 産褥期の心理・社会的変化
- 15 褥婦のアセスメント
- 16 周産期ハイリスク

3) 参考図書

- ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 医学書院
- ・系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 医学書院

4) その他

授業で使用したプリントは必ず目を通しておくこと

5. 実習内容

- (1) 妊娠における正常な経過と身体的変化、心理、社会的変化を理解できる

行動目標	実習内容
1) 妊婦とその家族への援助の必要性和看護の実際が理解できる 2) 妊婦の観察と計測、検査結果から母体の変化や胎児の発育状態をアセスメントし、必要な保健指導を考えることが出来る 3) 妊娠・出産・育児に関連する諸制度を理解することが出来る	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠に応じた身体的特徴を理解できる ・妊娠中に行われる妊婦健康診査の必要性がわかる ・保健指導から、妊娠各期の日常生活の過ごし方や注意点を学ぶ ・妊娠中に起こりやすい異常について学ぶことが出来る ・妊娠中の異常を予防するための生活の注意点を説明できる ・母子保健施策について考えることが出来る

(2) 産婦の正常な分娩経過とその特徴が理解できる

行動目標	実習内容
1) 産婦とその家族への援助の必要性と看護の実際が理解できる 2) 産婦の分娩進行状態の情報を収集し、正常な分娩経過で進行しているのか考えることができる 3) 分娩進行に伴う産婦への援助(産痛緩和、呼吸法など)を指導下で行うことができる 4) 胎児心拍モニタリングの重要性から胎児の健康状態をアセスメントすることができる 5) 胎児付属物の観察、計測結果から子宮内環境を考えることができる 6) 出生直後の新生児の観察と援助の見学から、子宮外適応過程の看護を関連づけることができる 7) 出生直後の母児接触の意義を述べることができる	<ul style="list-style-type: none"> ・正常な分娩経過を情報収集でき、パルトグラムを実際に作成できる(母性実習記録) ・妊娠中と入院時の情報をもとに現在の状態をアセスメントできる ・分娩経過に沿った観察が実践できる ・分娩進行に伴う産婦への援助(リラクゼーション、産痛緩和、呼吸法など)を指導下で行うことができる ・分娩に対する不安を軽減できるような安吾援助が指導下で実践できる ・胎児の状態をアセスメントできる(分娩監視装置、妊娠期の情報などより) ・子宮復古のための援助を指導下で行うことができる ・事前学習をもとに実際に胎盤計測を指導下で行うことができる ・出生直後の新生児のアップガースコア、バイタルサインなど、事前学習と照らし合わせ、児の状態を観察することができる ・出生直後の母児の様子から愛着形成について考える

(3) 新生児の身体的特徴、生理的変化が理解でき、子宮外生活適応に向けた援助ができる

行動目標	実習内容
1) 新生児の観察が出来、援助の必要性と看護の実際が理解できる 2) 新生児の生理的特徴を観察し、早期新生児の日齢に関連づけて健康状態をアセスメントできる	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児の身体的特徴と生理的な変化について理解できる ・新生児の子宮外生活適応の観察とアセスメントが出来る ・新生児の子宮外生活適応を順調に進めるための看護の実際(環境調整、清潔、栄養管理)を考える

(4) 褥婦の正常な経過とその特徴を理解するとともに、母乳栄養確立、母子関係確立にむけてアセスメントができる

行動目標	実習内容
1) 褥婦とその家族への援助の必要性和看護の実際が理解できる 2) 受け持ち褥婦の退行性変化、進行性変化を観察し、産褥期の生理的経過と関連付けてアセスメントできる 3) 母親の出産育児行動をアセスメントし、新生児の健康生活支援と関連付けてアセスメントできる 4) 保健指導を見学し。褥婦に応じた保健指導の必要性を理解できる	<ul style="list-style-type: none"> ・褥婦の妊娠・分娩経過が産褥経過に及ぼす影響を分析する ・復古を促すための援助を計画し、指導下で実施できる ・母乳分泌、新生児の哺育機序に基づいた援助を計画し、対象の母乳育児支援を考える ・受け持ち褥婦の家庭、社会環境から退院後の生活のサポート、育児環境について考える

(5) 出産後の母親の身体的な回復や心理的安定を目的とした継続看護の必要性を理解できる

行動目標	実習内容
出産後の母親の身体的な回復や心理的安定を目的とした継続看護の必要性が理解できる	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後の母親の不安、育児技術習得状態を知り、個々に応じた保健指導の実際を学ぶ ・助産師、看護師、母親の様子から前向きに育児ができるような関わりの必要性を学ぶことができる

(6) 地域母子保健活動の実際を知り、継続看護の必要性を理解できる

行動目標	実習内容
地域で生活する母子の環境を踏まえ、家族を含めた継続看護の必要性を理解できる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会で生活する母子のニーズと支援について学ぶ ・地域母子保健活動の実際を学ぶ

(7) ハイリスク要因を持った妊産婦や新生児の療養環境や機能、看護師の役割を理解し、退院後の継続看護についての特徴を学ぶことが出来る

行動目標	実習内容
1) ハイリスク状態にある母児の特徴を理解できる。 2) ハイリスク状態にある母児への援助の実際を理解できる。 3) 周産期医療システムの現状や課題についての理解を深める	<ul style="list-style-type: none"> •MFICU について ハイリスク妊婦の状態観察や日常生活援助の方法、療養環境を学ぶ。患者は突然の救急搬送や強度の安静のため不安が強い。その中で前向きに分娩に取り組めるよう助産師、看護師を含めた医療チームで患者とどのように関わっているかを学ぶ •NICU,GCU 見学 NICU 入院から退院までの育児技術指導の実際とその方法を学ぶ。また母子分離時における母親の愛着形成の過程を考える •学内(実践活動外) 総合周産期母子医療センターの見学を通し、学んだことをグループで話し合い、まとめを発表する

(8) 母性看護学に対して主体的に学び、取り組むことができ、自己の課題を明確にできる

行動目標	実習内容
1) 看護学生や看護チームの一員として責任のある行動がとれる 2) 他者の助言が受けられる 3) グループにおける自己の役割を意識した行動・言動が示せる 4) 今後の自己の課題について述べられる	<ul style="list-style-type: none"> • 報告、連絡、相談ができる • 効果的なカンファレンスを行えるよう、単なる情報伝達ではなく、体験を共有し、一緒に考え、話し合いを通して理解を深める場であることを意識して参加できる • 看護職者としての守秘義務、プライバシーの保護に努められる • 対象者を通し看護職者としてよりよく成長していくために何が自分に必要なのか考え、看護観につなげる

6. 実習計画

(1) 1単位 30時間 (妊娠期)

日程	内容	実習場所	時間
1日目	学生自己紹介 行動計画発表 朝礼参加 施設オリエンテーション ・妊婦健診、保健指導見学、腹囲計測、子宮底長計測実施 カンファレンス 「母性看護学実習における自己の目標と課題」	恵愛病院 外来	10時間
2日目	行動計画発表 朝礼参加 ・妊婦健診、保健指導見学、腹囲計測、子宮底長計測実施 ・妊婦の観察と計測、検査結果から母体の変化や胎児の発育状態を アセスメントし、必要な母子保健施策や保健指導を考える カンファレンス	恵愛病院 外来	10時間
3日目	行動計画発表 朝礼参加 ・妊婦健診、保健指導見学、腹囲計測、子宮底長計測実施 ・妊婦の観察と計測、検査結果から母体の変化や胎児の発育状態を アセスメントし、必要な母子保健施策や保健指導を考える カンファレンス 「妊娠期実習における学びと課題」	恵愛病院 外来	10時間

(2) 2単位 90時間 (分娩、産褥、新生児、地域母子保健活動、ハイリスク周産期)

日程	内容	実習場所	時間
1日目	行動計画発表 朝礼参加 【分娩期実習】 ・産婦を受け持ち分娩経過のアセスメントする ・産痛緩和、呼吸法など指導下で行う ・出生直後の児との対面や母親の言動より愛着形成について 考える ・胎盤計測・出生直後の処置	恵愛病院 病棟	10時間

2 日目	<p>【産褥・新生児実習】（産褥・新生児 1 日目）</p> <p>行動計画発表・朝礼参加</p> <p>[褥婦]情報収集, コミュニケーション・バイタル測定・一般状態の観察 （子宮底測定・悪露交換・創部の観察）同室説明・授乳教室見学</p> <p>[新生児]バイタル測定, 一般状態の観察, 体重測定, 経皮黄疸測定, おむつ交換, 哺乳, 新生児の援助・実施・検査・処置見学(ABR)</p> <p>*産褥・新生児の看護過程展開</p>	恵愛病院 病棟	10 時間
3 日目	<p>【産褥・新生児実習】（産褥・新生児 2 日目）</p> <p>行動計画発表 朝礼参加</p> <p>[褥婦]情報収集, コミュニケーション・バイタル測定・一般状態の観察 （子宮底測定・悪露交換・創部の観察）授乳教室見学</p> <p>[新生児]バイタル測定, 一般状態の観察, 体重測定, 経皮黄疸測定, 沐浴準備・実施, おむつ交換, 哺乳, 新生児の援助・実施・</p> <p>*産褥・新生児の看護過程展開</p>	恵愛病院 病棟	10 時間
4 日目	<p>【産褥・新生児実習】（産褥・新生児 3 日目）</p> <p>行動計画発表 朝礼参加</p> <p>[褥婦]情報収集, コミュニケーション・バイタル測定・一般状態の観察 （子宮底測定・悪露交換・創部の観察）退院指導見学</p> <p>[新生児]バイタル測定, 一般状態の観察, 体重測定, 経皮黄疸測定, 沐浴準備・実施, おむつ交換, 哺乳, 新生児の援助・実施・</p> <p>*産褥・新生児の看護過程展開</p>	恵愛病院 病棟	10 時間
5 日目	<p>【産褥・新生児実習】（産褥・新生児 4 日目）</p> <p>行動計画発表 朝礼参加</p> <p>[褥婦]情報収集, コミュニケーション・バイタル測定・一般状態の観察 （子宮底測定・悪露交換・創部の観察）</p> <p>[新生児]バイタル測定, 一般状態の観察, 体重測定, 経皮黄疸測定, 沐浴準備・実施, おむつ交換, 哺乳, 新生児の援助・実施・</p> <p>*産褥・新生児の看護過程展開</p>	恵愛病院 病棟	10 時間
6 日目	<p>【産後期実習】</p> <p>行動計画発表 朝礼参加</p> <p>学生自己紹介 行動計画発表 朝礼参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助産師による母児健康診査見学 ・母親とのコミュニケーション ・日常生活指導見学 ・産後 2 週間健診見学 <p>実習の振り返り・まとめ</p> <p>「産後ケアセンターの必要性和本日の学び」</p>	恵愛病院 産後ケア センター	10 時間

7 日目	<p>【地域母子保健活動実習】</p> <p>①子育て支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生自己紹介 行動計画発表 朝礼参加 ・施設オリエンテーション ・助産師、保健師、母親の様子から地域母子保健活動の実際を学ぶ <p>②実践活動外・学内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の振り返り・まとめ ・カンファレンス <p>『切れ目のない子育て支援について・健やか親子 21』と関連させて考える</p>	子育て支援センター	4 時間
8 日目	<p>【ハイリスク周産期実習】</p> <p>①総合周産期母子医療センター</p> <p>ハイリスク状態にある母児の特徴や援助、周産期の新生児医療システムの現状や課題についての理解を深めるため、NICU・GCU におけるハイリスク母児のケアについて見学実習を通して学ぶ。</p> <p>②実践活動外・学内</p> <p>総合周産期母子医療センターの見学を通しての学びや、気づきをグループで話し合いまとめる。また発表を通し他グループとの学びを共有し周産期医療に対する課題や看護師の役割はなにか理解を深める</p>	総合周産期母子医療センター	4 時間
		学内	6 時間

母性看護学実習・評価表

グループ 学生氏名

評価内容	評価基準	自己	教員
妊娠における正常な経過と身体的変化、心理、社会的変化を理解できる	妊婦とその家族への援助の必要性和看護の実際が理解できた		
	妊婦の観察と計測、検査結果から母体の変化や胎児の発育状態をアセスメントし、必要な保健指導を考えることができた		
	妊娠・出産・育児に関連する諸制度を理解することができた		
分娩期：産婦の正常な分娩経過とその特徴が理解できる	産婦とその家族への援助の必要性和看護の実際が理解できた		
	産婦の分娩進行状態の情報を収集し、正常な分娩経過で進行しているか考えることができた		
	分娩進行に伴う産婦への援助（産痛緩和、呼吸法など）を指導下で行うことができた		
	胎児心拍モニタリングの重要性から胎児の健康状態をアセスメントすることができた		
	胎児付属物の観察、計測結果から子宮内環境を考えることができた		
	出生直後の新生児の観察と援助の見学から、子宮外適応過程の看護を関連づけることができた		
	出生直後の母児接触の意義を述べることができた		
新生児の身体的特徴、生理的变化が理解でき、子宮外生活適応に向けた援助ができる	新生児の観察が出来、援助の必要性和看護の実際が理解できた		
	新生児の生理的特徴を観察し、早期新生児の日齢に関連づけて健康状態をアセスメントできた		
褥婦の正常な経過と、その特徴を理解するとともに母乳栄養確立、母子関係確立にむけてアセスメントができる	褥婦とその家族への援助の必要性和看護の実際が理解できた		
	受け持ち褥婦の退行性変化、進行性変化を観察し、産褥期の生理的経過と関連付けてアセスメントできた		
	母親の出産育児行動をアセスメントし、新生児の健康生活支援と関連づけてアセスメントできた		
	保健指導を見学し。個々の褥婦に応じた保健指導の必要性を理解できた		
出産後の母親の身体的な回復や心理的安定を目的とした継続看護の必要性が理解できる	退院後の母親の不安、育児技術習得状態を知り、個々に応じた保健指導の実際を学べた		
	助産師、看護師、母親の様子から前向きに育児ができるような関わりの必要性を学ぶことができた		

評価内容	評価基準	自己	教員			
地域母子保健活動の実際を知り、継続看護の必要性を理解できる	地域で生活する母子の環境を踏まえ、家族を含めた継続看護の必要性を理解できた					
ハイリスク要因を持った妊産婦や新生児の療養環境や機能、看護師の役割を理解し、退院後の継続看護についての特徴を学ぶことが出来る	ハイリスク状態にある母児の特徴を理解できた					
	ハイリスク状態にある母児の療養環境や援助の実際を理解できた。					
	周産期医療システムの現状や課題についての理解を深めることができた					
母性看護に向けて主体的に学び、取り組むことができ、自己の課題を明確にできる	看護学生や看護チームの一員として責任のある行動がとれた					
	グループにおける自己の役割を意識した言動が示せ、他者の助言を受け入れることができた					
	今後の自己の課題について述べることができた					
評価について（1項目につき4点・合計100点） 基準	4点…とてもできた	遅刻	早退	欠課	合計	合計
	3点…まあまあできた					
	2点…あまりできなかった					
	1点…できなかった					
	0点…まったくできなかった	時間	時間	時間	点	点
備考						